

2021 セイジ・オザワ 松本フェスティバルの感染症対策について

1 出演者・制作スタッフ

- (1) 出演者及びスタッフのPCR検査の実施（県内に入る前）
松本滞在中も適宜追加実施（最大3日に1回）
- (2) 例年開催しているパーティーの中止（ウェルカム、そば、さよなら）
- (3) リハーサルについては原則非公開
- (4) 必要最小限としていた楽屋の使用を各ホールの最大数利用として出演者の密を緩和
- (5) 出演者等に感染疑いが生じた際に使用する、感染者対応搬送車の常備

2 ボランティアスタッフ

- (1) 体調チェックシートによる体調管理の徹底
- (2) 勤務日当日の抗原検査を実施予定
- (3) 接触を避けるため、クローク（荷物預かり）中止、チケットもぎりを目視とする

3 そのほか

- (1) 基本的な感染対策の徹底（マスク着用、手指消毒、検温の実施等）
- (2) CO2センサー（8台）を各会場のホワイエ等に設置し、密状態を計測
- (3) 各ホール（キッセイ文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市音楽文化ホール）
最大換気の実施（約15分で入替）
- (4) 通常20分の休憩時間を30分に変更、トイレ待ち等の密を解消
- (5) 公演中のトイレ清掃・消毒の実施
- (6) 今までOMFでは実施してこなかった影アナウンスを行い、感染症対策徹底の呼びかけ、規制退場（時間差退場）による密の緩和を図る
- (7) 例年オーケストラコンサートやオペラ公演時に実施していたワインサービスの中止